



荒木千恵子 議員

甲状腺検査体制の 充実強化を！

問 18歳以下の子ども
の甲状腺検査2巡目の
結果が発表された。県
は、原発事故によるも
のとは考えにくいと分
析した。この点は、原
発に反対の立場の専門
家も、遺伝子解析技術
の進歩によるものと評
価し、今後検査を継続
することの大切さを強
調している。18歳以降
も検査を継続する考え
方について伺う。

答 県は2回目の検査
を実施し、今後は20歳
までは2年に1回、そ
れ以降は5年に1回検
査する予定である。

問 20歳以降も年に1
回の検査を受けられる
よう求めるべきでは。

答 医学的に十分な検
査間隔とされている。

問 チェルノブイリで
は5年以降がんが急
増。29年目の現在、風
邪、貧血、疲れ易い子

どもが多く、未熟児・
早産が増加。甲状腺だ
けでなく、様々な検査
体制の充実強化を求め
ていくべきと考えるが。

答 検査の受診率が下
がっている。内容を充
実して、健康を守る体
制づくりを求めたい。

保養制度の創設を

問 放射線汚染地帯か
ら一時的に離れる事で
免疫力回復の効果が知



夏季体験学習で海水浴（長崎県上玉島村）

られている。招待事業
に参加できた児童生徒
は、全体の2割程度。
市独自の保養制度を創
設すべきと考えるが。

答 市としては招待事
業を活用していきたい。

問 二本松市では、全
ての幼児・児童生徒を
対象に実施中。本市で
も実施できないか。

答 招待事業でいく。

質問を終えて

せめて何日かでも、山
や海其自然豊かな環境の
中で、思いっきり遊ばせ
てあげた〜い！！

その他の質問

①避難中の市民の県民
健康調査の実施を

②仮置場の遮水シート
の安全性は

③仮置場の設置期限後
の対応は



渡部 寛一 議員

仮設住宅退去時の 清掃修繕は

問 仮設住宅の退去時
に、市の指摘で10万円
単位の清掃、修繕を
強いられている事例も
少なくない。

答 仮設の貸与期間は本
来2年間と規定されて
おり、2年間だけは耐
えられる程度の構造だ。
安普請以下であり、4
年間も住んでいればカ
タカタになるのは当然。
県に確認をとったと
ころ、さらに新しく入
居される方がいれば、
県の責任であらためて
清掃、修繕をすること
している。仮設を退去す
る方に過重な負担をか
けるべきではない。

答 清掃は掃除程度と
考えている。退去者に
対して必要最低限の負
担になるように、担当
職員を含めて徹底して
いきます。



退去しつつある仮設住宅

も。子育ては家族に頼
るしかない。見過ごせ
ない実態にある。

さらに、思いやり、
優しさがあり、協力的
合える職場環境にしな
ければなりません。

答 労働環境や職場環
境の整備に努め、働く
やすい環境整備に取り
組んでいきます。

看護師過重労働改善を

問 市立総合病院の看
護師は、毎日2時間程
度の超過勤務は当たり
前で、4時間に及ぶこ
とも珍しくない。患者
の命を預かる仕事なの
で、機械的対応はでき
ないというものの、超
過勤務が日常化・通年
化しているのは、過重
労働である。

病人を看護する者が
病人になる。家庭崩壊

質問を終えて

働きやすい職場環境をつくり、
看護師自身が全国に看護師募集を
発信できる病院にぜひ。

その他の質問

①20km圏内の農業水利
施設の修理と維持管
理は

②浦尻貝塚を新たな発
想で事業再開を



細田 廣 議員

本庁舎新築について

問 南相馬市誕生10年を迎えるに当たり現状をどのように捉えているか伺う。

答 大震災と原発事故によって分断され、複雑な状況もあります。南相馬市の復興が進むよう全力で取り組んで参る。

問 本庁舎は建設後47年が経過している。部署も分散していることからサービスの低下になることも心配される。新庁舎建設に向けて準備に取り組む時期と考えられるが見解は。

答 本庁舎建設の必要性は十分認識している。基金の造成や検討委員会の設置などの準備に取り組み考えです。建設時期は、平成40年ごろになるかと考えている。

問 小高・鹿島両区役所に一定の権限を持た

せ区役所機能を充実させるべきと思うが。

答 住民ニーズに応じ、適時的確に対応する考えです。



新築が検討される本庁舎

農業振興策について

問 稲作付者に対する支援はどのように。

答 国の経営所得安定対策の米の直接支払交付金10アール当り、7千500円や、福島県営農再開支援事業を活用し支援を行う。

問 28年度の稲作に向けた支援事業の、作業

主体はどうするのか。

答 JAそうまを実施主体と考えている。

問 作業をすれば3万5千円が入ると受け取っている農家もあるが、混乱しない対応策は。

答 懇切丁寧に説明します。

質問を終えて

市道整備の要望が多く寄せられます。改良・舗装率の向上や、維持管理の拡充が必要。

その他の質問

- ① 県道原町川俣線の整備は
- ② 市道の改良率・舗装率の向上は
- ③ 野鼠駆除実施は



鈴木 貞正 議員

八沢地区ほ場整備事業について

問 真野川水系からの用水確保対策は。

答 八沢地区ほ場整備の事業主体である県では七千石水路から幾つかのため池を経由して、八沢地区のため池にかき入れが可能という記述が古い文献等にあることから、計画概要書に真野川水系と記載したものと聞いております。実際の真野川水系からの用水確保については、既得権として認められていないわけではなくことから、県ではほ場整備事業区域の中で用水確保を図る計画としております。

問 担い手を中心とした集落営農対策は。

答 ほ場整備完了後の営農については、農地中間管理機構と連携した利用権設定や作業委託により地域の担い手に対する農地の利用集

積による経営体の育成を図り、地域として水稻を中心とした営農に取り組み計画になっております。

また、集落営農や環境整備等について話し合いを行う地域営農改善組合を組織するとともに策定しております。経営再開マスタープランの見直しを行いな

る助成金等は。

問 相馬野馬追に対する助成金等は。

答 相馬野馬追出場奨励金は、震災後の影響等を踏まえ、相馬野馬追をこれまでどおりに継承し継続するため平成24年度から引き上げた経過がある。さらなる総合支援を検討する。

その他の質問

- ① 氾水防除事業の概要は
- ② 排水機場から海岸までの排水計画は
- ③ 相馬野馬追の観光対策は

質問を終えて

周辺地域には、長い歴史と豊かな自然に育まれた独自の環境がある。



八沢（相馬市、南相馬市）排水機場